科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：障害とは何か ILAS Seminar :Disability Studies			担当者所属 職名・氏名	学生総合支援機構 准教授　村田　淳 学生総合支援機構 講師　　楠　敬太		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	8 (8) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	教育院棟演習室21			使用言語	日本語
キーワード	障害 / インクルージョン / バリアフリー / 多様性 / 社会学						

[授業の概要・目的]

この授業のタイトルをみて、「京大で障害を学ぶ？ どういうこと？」と思った人はいませんか。一般的に、障害や障害者というと福祉やボランティアというイメージがあり、そもそも学問になるのか、という疑問を持つかもしれません。ただ、現在、障害を切り口にした、新しい学問の潮流が創出されつつあります。それは、「障害学(Disability Studies)」とよばれる学問で、障害を「個人モデル」という捉え方から「社会モデル」という捉え方へと変えるパラダイムシフトをベースに、人間や社会の理解を根本から変えていこうとする試みです。「どういう意味だろう？」と疑問を持った方は、是非その問いについて一緒に学んでみませんか。教員からの講義だけでなく、ディスカッション、ワークショップ、ゲストトーク、学生による発表を組み合わせた少人数ゼミで、知識や経験は一切不問です。文系・理系を問わず、意欲あふれる学生の参加を歓迎します。

[到達目標]

現代における「障害観」について学び、多様性・異文化への理解を深めること、また、自主的な学習を通して、自分の思いを適切に伝えるプレゼン技術を磨き、且つディスカッションへ積極的に参加する意欲と能力を養うことを目標とします。

[授業計画と内容]

以下、授業の予定です。
※スケジュールや内容は変更する場合があります。
※講義に加えて、ディスカッション・体験実習・ワークショップなどを行います。

1. オリエンテーション、導入授業等
2. 障害とは何か①（障害に関するレクチャー）
3. 障害と社会・教育、合理的配慮
4. ゲストスピーカー
5. 情報保障
6. バリアフリー・ワークショップ（車椅子実習）
7. 障害とAT（支援機器）
8. ゲストスピーカー
9. 発達障害に関するワークショップ
10. アダプテッドスポーツ（体験実習）
11. 障害とは何か②（障害に関するレクチャー）
12. 学生発表
13. 学生発表
14. 学生発表
15. フィードバック

なお、本授業は学内外の教員や専門家などの協力を得て実施します。

ILASセミナー ：障害とは何か(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：障害とは何か(2)

[履修要件]

この授業の履修にあたって、障害に関する知識やボランティア経験などは一切必要ありません。これまで障害について考えたこともなかったという学生の履修を待っています。

[成績評価の方法・観点]

○平常点（50%）
8割以上の出席を求めます。
授業への積極的な参加を求めます。

○発表（50%）
授業の後半（7月頃）に学生発表を求めます。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

（関連ＵＲＬ）
https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/drc/(学生総合支援機構 障害学生支援部門（DRC）)

[授業外学修（予習・復習）等]

自主的な学習を求めます。
学生発表の際には、各自でレジュメ等の準備を求めます。

[その他（オフィスアワー等）]

本授業では体験実習等を行うため、学生教育研究災害傷害保険へ加入していることが必須です。

問い合わせなどは、以下へ連絡してください。

学生総合支援機構 障害学生支援部門（DRC）
担当者：村田淳
TEL：075-753-2317　FAX:075-753-2319
E-mail:murata.jun.4v@kyoto-u.ac.jp
場所：旧石油化学教室本館・1階北側（吉田キャンパス 本部構内）
開室時間：平日9時00分～17時00分

[主要授業科目（学部・学科名）]